

# 議会だより

北島町議会

第19号  
発行  
北島町議会  
広報編集  
特別委員会

2017.08.24

議員研修報告

## 無電柱化と議会改革

八月二十三日、二十四日にわたり、議員十一名と事務局二名で、京都市役所と、京都府精華町で研修してまいりましたのでご報告いたします。

### 無電柱化

八月二十三日、京都市役所におきまして、無電柱化事業についての研修をいたしました。京都市における「無電柱化」は「景観・観光」「安全・快適・防災」の観点から推進しているが、主に景観系路線が中心で伝統的建造物群保存地区、世界文化遺産周辺地区、特別修景地域でありました。

無電柱化事業には、km当たり七億から九億円と多額な整備費用、設計から完成まで十年かかる、工事期間の長さと地上機器及び電力杆の設置場所の確保が大きな課題となっています。

- \*四つを柱とする「開かれた議会」の実現に向け取り組んでいる。
  - 一、市民参加、市民との協同
  - 二、情報公開、説明責任
  - 三、議会機能の発揮
  - 四、政策提言、提案
- ・議員報酬改定の提案とのことあります。

### 議会改革について

八月二十四日、精華町におきまして、福岡県のみやこ町との合同研修会を行いました。

精華町議会が取り組んでこられた議会改革については次の通りです。

- 精華町の特徴は「前例にこだわらず試行、挑戦」すること。
- 「先ずやってみよう」の精神で、最初からしない理由を見つけるのではなく間違つていれば修正すればいいという考えで進めていく。とのことでした。

・議会だよりの大幅改革・パソコンの貸与・議案書の貸し出し・町長傘下の各種審議会委員の撤退、一問一答方式、反問権の付与、通年議会の導入、事務事業評



# PTAと文教厚生常任委員会との意見交換会

「世界の情勢はめまぐるしいスピードで変化」

北島町PTA会長 細川 麻里子

平成二十九年七月十九日、議会委員会室において、北島町PTA連合会会

長他九名、議員十二名、オブザーバーとして天羽教育長が参加してPTAとの意見交換会が行われました。

各校より要望と提言があつた。その主なものと回答は、

Q：柔軟な思考や対応ができる子ども達を育てるためには、保護者の教養・育成・研修・講演会等の定期的な実施を求める。

A：教育委員会では、人権に関する講演会や生涯学習講座、文化講演会を実施しています。また、各校のPTA対象の研修会などで保護者の学習機会の充実に努めています。その他家庭教育力の向上・支援を継続的に図っています。

Q：スポーツ功労賞の規定では、生涯一回が対象となっているのか。

A：小学校で表彰された者が以降にまた表彰されることも有り、生涯一回ということはない。

Q：他の自治体で行っていると聞く「二分の一成人式」を子どもからの要望も有りやつてもらいたい。

A：実施している学校では、自分の将来を考え、自分を支えてくれた周囲への感謝の機会として意味ある行事として考えているようである。町全体で開催するには、単にイベントではなく、式のねらいや意義・内容について十分検討が必要です。いろいろと課題も多く開催は難しいと考えます。



## 「初体験」



また、グローバルな視点で質問事項を捉えてみると、平和な日本国だからこそ出てくる内容の教育に対する改善点や要望等でした。

今回は、私が四月に町PTA会長に就任致しまして未熟者でしたので、知の方々と本部役員の方の声しか反映出来なかつた反省点を踏まえて、もしも二回目の開催が行われる時がありましたら、その時は小・中学校全員の保護者様の方々にアンケート用紙を配布して、常日頃の悩みや改善点・町に対しての要望等をヒアリングして、発信したいと切望致します。考えが全体にまで及ばず、非力で申し訳なかつたこと、この場をお借りし保護者様に謝罪致します。大変失礼致しました。

最後になりましたが、中委員長をはじめ町議会議員の皆さま、本当にこの様な良い機会を与えて頂きましたことに、心より御礼申し上げます。この会を開催するにあたり、PTA各校事務局の先生方のお力添えのお陰で、有意義な時間を共有できました事、本当に嬉しく思います。有り難うございました。

Q：土曜授業の放課後等の教育支援

A：平成三十二年度に改訂される学習指導要領では、小学校で「外国語科」

授業が導入されるなどにより、授業時数を増やす必要があります。様々な方法を検討しながら、子ども達の授業時間確保に努めたいと考えます。

文責 中 勝

について

Q：土曜授業の放課後等の教育支援

A：平成三十二年度に改訂される学習指導要領では、小学校で「外国語科」

授業が導入されるなどにより、授業時数を増やす必要があります。様々な方法を検討しながら、子ども達の授業時間確保に努めたいと考えます。

下で子育て出来ている事に、深く感

ますが、町民の生の声を取り入れようとして下さっている中委員長を始め、十二名の町議会議員の方々の真摯な姿勢に心を打たれました。

意見交換会を終えて振り返つてみ

ると脳裏に浮かぶのはタダタダ、「私、北島町民で良かったなあ。」と、実感致しました。そして、沢山の気付きが有り改めて恵まれた環境

謝ることができました。

## 新庁舎とデジタル行政無線

### 総務常任委員会研修



二〇一七年八月十七日、阿南市役所を村上危機情報管理課長、坪内、灰田、川村、中、増谷議員で視察した。

新庁舎建設は、二〇〇五年に基本構想検討委員会を立ち上げ、パブリックコメント実施などを経て旧庁舎地に決定し、二〇一四年、一期工事完成、十六年度二期工事竣工、地上七階、地下一階、建設費総額八九億円であります。窓口を一・二階に集約し、関連のある窓口を近くに配置し、戸籍・住民票・印鑑証明・諸証明の請求を一枚に統合し、フロアマネージャーを配置し、申請等の補助を行つてある。 庁舎一～三階を吹き抜けにして、災害時の一時避難場所に指定した。 情報系パソコンは、すべて無線通信

にして、庁舎内のすべての場所で情報系端末の使用を可能にした。

議場の天井や壁は県産杉を使用し、開放的な空間とし、傍聴しやすいようになっている。場内にはモニター三台を配置した。

ケーブルテレビライブ中継は、二十九年九月定例会より予定している。

・新庁舎における防災対策について  
　　新庁舎最上階に非常発電機設備と、太陽光発電設備を設置し、庁舎内への電気供給ができるようにした。

浸水対策としては一メートル高くして、各出入り口に防水パネルを取り付ける対策をしている。震度七の揺れに対応できるよう免震装置を三十四基設置している。液状化対策としては、砂杭一千五百本を施工している。

防災無線は、庁舎建設前や合併後の複数のシステムを平成二十四年から三年で、デジタル無線を整備した。総事業費は十三億三千九百五十九万円です。

防災無線は、阿南市全域に屋外拡声器二百五十、個別無線機三百二十五台、映像情報収集装置十ヶ所、気象観測装置三か所、地震、台風、水害など緊急通報、Jアラート発信を行い、電話応答サービスなど対応している。災害時連絡以外に各種イベントの案内、納税相談及び公民館からの行事案内などを放送している。

文責 増谷禎通

## コンパクトタウン議会サミット

### 「復興を実感」

平成二十九年五月十八日（木）十

九日（金）に、宮城県七ヶ浜町において開催され、見事に復興をしておりました。

来賓として、宮城県知事 村井嘉浩

氏を迎えて、基調講演は七ヶ浜町長 寺澤薰氏「七ヶ浜における津波そして復興」と題して行われました。

その後、第一分科会は「避難所開設から仮設住宅までの課題」、第二分科会は「ボランティア活動と心のケア」、第三分科会は「災害における議会と議員の課題」について、話し合うものがありました。

七ヶ浜町においては、避難所開設時に指揮命令系統及び本部伝達に課題があつたとのこと。また仮設住宅建設の環境が把握できず、降雨時浸水と湿気に悩んだ仮設住宅があつたとのこと。北島町においても指揮命令系統に問題がないか、正確な報告ができるよう、どう対処するのか等、課題一つ一つに取り組めるよう、きめ細かな訓練が必要であり、年次ごとに訓練の内容も多面的に考える必要がありました。



保も、北島町においては必須であるとともに、嵩上げしておく必要があるのではないかと考えます。  
議会としても図上訓練、実地訓練等、体にしみこませるような訓練が必要と考えます。

文責 中野真吾

## 徳島県町村議会議員研修会

八月四日、グランヴィリオにおいて議員八名、柴山監査委員、事務局計十一名で参加しました。

演題「知らざれる皇室」講師：久能靖氏と「トランプ政権と今後の日

米関係」講師：藤崎一郎氏

## 町議会の先進性

四国大学経営情報学部教授

萩原八郎



かと感じた次第です。

北島町に住み始めてから二十年近くになりますが、最近まで町議会の議場に行つたことはありませんでした。ある議員さんが庁舎の階段を上つて、いくのを見かけたことがあります。そこで、階上のどこかに議場があるのだろうと思つていきましたが、先日閉会中の北島町議会の議場を初めてのぞいてみました。あまり大きな議場ではないな、というのが第一印象でしたが、本庁舎建物のほぼ中心部にある三階に議場があることに新鮮な驚きを感じました。北島町のほぼ中心に同町の行政を司る役場の庁舎が位置し、町政を町民視線からチェックする役目の町議会の議場が本庁舎建物のほぼ中心部に置かれているといふことは何と象徴的であろう

私が勤める四国大学では、勝浦町及び町議会との地域連携を進めており、先日経営情報学部の学生と勝浦町議会の議員さんたちと意見交換を行いました。数年前まで議員の若返りが本当に実現できるとは当の議員さんたちも思つていなかつたそうですが、議員自身の意識が変わらなければいけないということから研修に取り組み、通年会期制などの制度改革とともに議員の若返りにもつながつたというお話を印象的でした。

県都徳島市に隣接して吉野川河口平野部に立地している北島町と、人口減少や地域の衰退への危機感がより強い中山間地の勝浦町とでは、町を取り巻く環境が異なりますが、議会改革と言えば、議会活性化のための議会基本条例を県内でいち早く制定した北島町も先進的です。北島町民として、自分たちの町議会の先進性がどのようなところにあるのか、その答えを探してみた

## 北島町議会常任委員会等構成

### 編集後記

第十九号、議会だより発行の運びとなりました。議会では、徹底した情報公開による、公正性、透明性、信頼性を確保し、決定事項については、町民への説明責任を負います。

また、議会への町民の参画を促進することで、開かれた議会を実現し、町民の意見を最大限に反映させる義務があります。

また議会は、町民との意見交換の場を多様に設けて、議会及び議員の政策立案能力を充実させるとともに、政策提案の拡大に努めなければならぬ。い。

後になりましたが、今年の夏は猛暑、豪雨、台風等の影響で自然災害が多く発生しましたが、季節は秋です。まだまだ残暑厳しい折、皆様御自愛下さい。

文責 北島 昭文

北島町お問い合わせフォーム  
<http://www.town.kitajima.lg.jp/inquiry/>



**読者の方からの御意見・御感想を募集**しております。一部は次号に掲載の予定です。左記の募集要項により手紙、ファックス、意見箱（北島町役場三階議会事務局前）へお寄せ下さい。

#### 募集要項

- ・氏名
- ・住所

・本文四百字以内